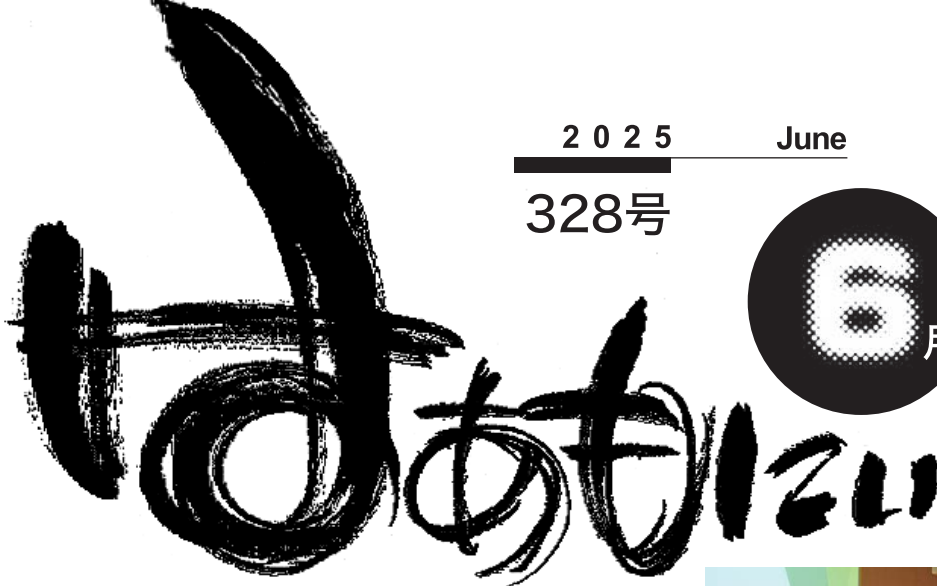


2025

June

328号



●社会医療法人創和会広報誌はあもにい / 発行 理事長 重井文博
令和7年6月1日発行



理事長 重井 文博

創和会創立67周年を迎えて

本日、創和会は創立67周年の記念日を迎えることができました。

創立より67周年を迎えることができたのは、皆さんの並々ならぬ努力と協力の賜物と心より感謝いたします。また、本日10年・20年・30年と病院に貢献した皆さんを表彰できますことは、誠に嬉しい限りです。皆さんにとり節目の年を迎えたわけで、今までのことを思い起こし、この先の目標を心新たに、更なる活躍を期待します。

私が生まれたのが70年前。生まれて3年して創和会という医療法人と重井病院ができました。その3年前に診療所がスタート。物心つく前から医療の中に居たわけですから。創業者であった白衣の父の後ろ姿をふと思い出しながら、毎年この日を

迎えています。

私が最近ハマっているのが、ファジアーノ岡山のJ1昇格。遠くまだ見ぬ景色であったものが現実となり、嬉しい限りです。全国47都道府県で、何においても不思議なぐらい真ん中の順位にいるのが岡山県ですが、それがJ1リーグの20チーム内に入った。出足は5位と、とっても良かったのですが、5月12日現在ちょっと勝利から遠のいて、20チーム中15位。いやいや、まだまだ前半戦の最中。さあ巻き返しじゃが。ともかくもファジのJ1入りは、岡山にとって最近に無い明るいニュースです。

病院の経営上の大変な話は今回、両病院院長にまかせて、私はしげい病院、重井医学研究所附属病院以外の話をします。

1958年5月12日
重井病院 開院

2024年4月1日
社会医療法人創和会へ

スライド1

社会医療法人は

● 公立・公的病院に代わって **6事業** の何れかを担う医療法人です。

- ・ 救急医療
- ・ 災害時における医療
- ・ 新興感染症発生・まん延時における医療
- ・ **へき地の医療**
- ・ 周産期医療
- ・ 小児医療

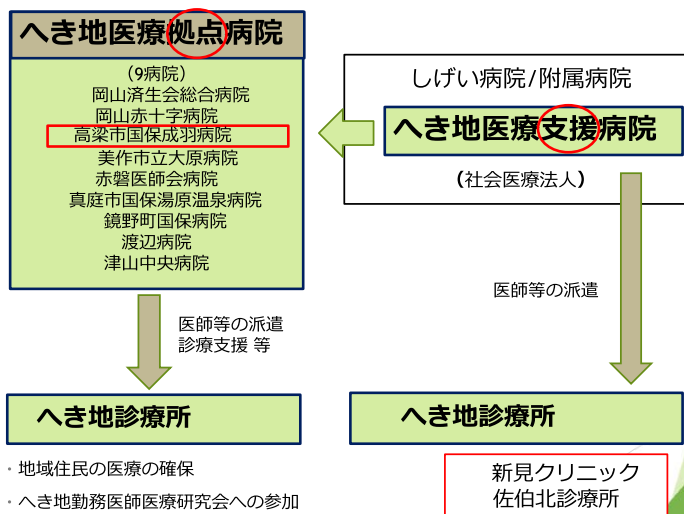
スライド2

昨年4月に、我々は普通の医療法人から「社会医療法人」に変わりました。社会医療法人は公立公的医療機関に代わって、不採算医療とされる6つの事業の内のいずれかを担う、公益性の高い民間法人の位置付けであり、厳格な認定基準があります。全国に370法人（令和7年1月1日時点）有り、その6割（238法人）が6事業の内の「救急医療」を選んでいます。

次に多いのは、「へき地医療」で103法人。創和会は、「へき地医療」での貢献を選択しました。ちなみにへき地医療を選択した社会医療法人の半

分が北海道で、41法人です。なぜかと言えば、北海道は大きい。広くてへき地が多くを占める状況から、民間病院がその役割をしないと地域医療が成り立たないからでしょう。岡山県で社会医療法人は12法人あり、県内病院数は合計158病院で、その約7%が社会医療法人です。その中でへき地医療を選択しているのは4法人です。他に災害医療とか周産期医療などの選択がありますが、いずれも〇〇センターと名の付く位のことをしていないと基準をクリアできないので、県内には無く、全国でも数は少ないです。

へき地医療への貢献



スライド3

スライド3の図で説明します。右上がしげい病院、重井医学研究所附属病院ですが、「へき地医

療支援病院」という肩書をいただいています。そして矢印真下の「へき地診療所」へ医師を派遣す

社会医療法人の特徴

公益性の高い法人であることを、毎年報告します。

公益性の高い法人だから、優遇措置があります。

①法人税非課税

医療に関する利益は法人税が非課税になります。
(ただし黒字経営でないとこの優遇はありません)

②収益業務ができる

医療法人時代はできなかった事ができる。

スライド4

る。自ら診療所をへき地に開設する法人もありますが、創和会は見聞クリニック（透析）と赤磐の佐伯北診療所（一般）に医師を派遣しています。それと矢印左ですが、「へき地医療拠点病院」が岡山県には9病院あります。9病院の中で我々が医師派遣を行っているのは高梁市国保成羽病院で、しげい病院に医師が専門性を活かし、認知症と神経難病の外来診療に出向いています。

認定基準上、派遣職種は医師ですが、あらゆる医療職が参加して支援するというのが、私の思うへき地派遣体制です。へき地では色々な医療職が不足しています。そこで、創和会に在籍の多職種が参画し、地域医療、へき地医療を支援する。政府・厚生省・県行政が、多職種参画に関心を持ち、社会医療法人の役割、施設基準として認めてくれたらと思います。これは、不足する多忙なへき地の医師の業務を、多職種にタスクシフトするとも言えるでしょう。

多職種が医師に同行、あるいは単独でへき地支援を行う。例えばCKDを専門にする管理栄養士が、栄養指導に単独で出向く。透析に専門性の高い薬剤師が、直接透析者の服薬指導に出向く。小児療育（発達障害）の指導士が専門医に同行し、医師は診断と助言、指導士はセラピーとカウンセリングをセットで行う。多職種で、へき地医療拠点病院を支援というのも有りでしょう。

先ほど述べましたが、本来は公的医療機関が担う役割である、6事業を民間が行う。すなわち公益性の高い民間病院ということになります。我々

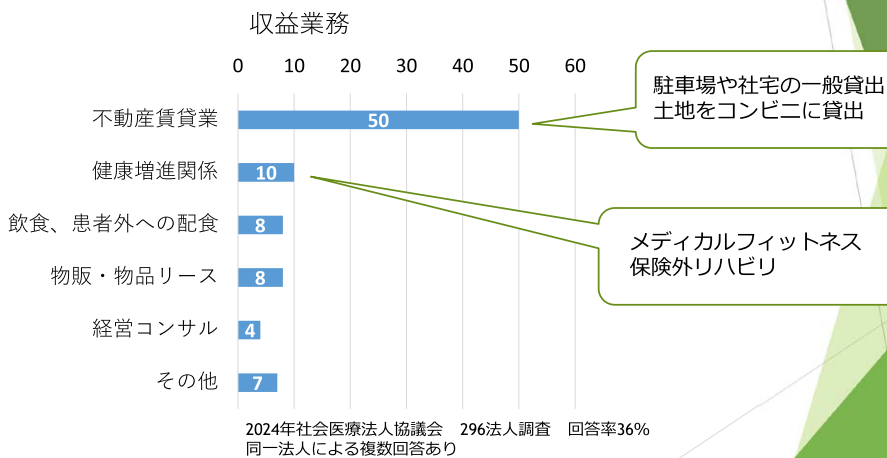
はへき地医療への貢献をもって、地域に無くてはならぬ存在となることを目指す訳です。

それを遂行できているか否かを毎年報告する義務があり、できていないと認定を取り消される上に、痛いペナルティを受けます。

公益性が高いということで、優遇措置として法人税非課税と収益事業実施許可があります（スライド4）。法人税は、得た利益の3分の1位を税金として納めるもの。利益、つまり黒字が出たら、この法人税非課税という優遇があります。そう、黒字でないとこの優遇は受けられないのです。それから、医療法人は医療・介護等の一定事業だけからしか、収入を得られませんが、社会医療法人は「収益事業」ができる。医療法人ではできないことが、可能となります。

何で優遇されるかというと、先の6事業は不採算事業だから民間病院は遂行が難しく、公の役割とされる。しかし公の医療機関だけでは足りないので、民間病院に委託するということです。例えば日赤とか済生会等の公的病院には税の優遇があるし、国公立・自治体病院はまた違うルールで不足（赤字）を補填されます。民間病院にはそれが無い。へき地に医師を派遣するには、医師をその分多く採用しないとできない。その分人件費がかかるが、民間に経営的余裕は乏しい。だから「法人税非課税と収益事業を認める」。これを資金に充てて、遣り繰りを、ということ。努力する者、報われるべしでしょう。

収益事業 事例



スライド5

病院はコロナ禍後（もちろん終わってはいませんが）、公民を問わずあまりにも経営が厳しい。政府の診療報酬抑制や物価上昇、人件費増加、少子高齢化と人口減少、受診動向の変化などで経営の厳しい状況が数年続き、悲鳴を上げている状況です。そして「もう限界、役目を終えたい」と去っていく。今後、特にへき地の病医院の廃業が急増するのは目に見えており、それも政府機関の推定より早まるは必定です。

では社会医療法人は実際、収益事業としてどのようなことを行っているのか。社会医療法人に認定された病院は、経営的にも質的にも優良と言ってもいい医療機関が多いですが、そこもここ数年で厳しくなった。何とかせねばということで、日本社会医療法人協議会主催で「収益事業を考える」という研修会が2月にありました。開催に当たり296法人にアンケート調査があったのですが、返答は106法人（36%）と、三分の一で、その内収益事業を行っているとの返答は57法人です。多くが収益事業をしていないと見て取れます。平たく言えば、医療畑の人に、「商売をどうぞ」というのは土台無理な話です。経験はおろか、学んだこともまずありません。なんせ院長はじめ病医院の医療従事者は、商品などの価格を決めること自体、経験が無くて当たり前の業界です。経験と言えば、せいぜい人間ドックとかワクチン接種の価格位のもので。そんな中ですが、アンケートの結果から、収益事業として行われているのはスライド5の通りです。一番多かったのは「不動産賃貸業」で、駐車場を貸したり、社宅を賃貸したり、あるいはアパート・マンション経営をしたり、

あるいはコンビニチェーンに院内の部屋を貸したりとかです。

次に「健康増進関係」とあります。比較的目にするのが、メディカルフィットネスクラブを経営すること。しかし、利益を出すのは難しく、我々も現在、「はあもにい倉敷（健康増進施設・指定運動療法施設）」で実感しており、あの手この手で黒字化を目指し、トライを続けています。考えてみれば、他院が羨む収益事業をすでにしているということなんです。後は黒字にすることです。

他にも、医療・介護保険適応外でのリハビリを提供する、いわゆる「自費リハビリテーション」があります。保険内では期間や、回数、障害レベルに限度があったり、また望むセラピストを選べない。そして本人の意思に反して、大方がリハビリ卒業を強制される。もう少し、あるいはもっとリハを受けたい障がいのある方が結構おられ、ニーズがあります。誰しも、もっと良くなりたいんです。「自費リハビリ」の提供は、会社立が目立ちますが、すでに名のある複数の医療機関も行っています。大方が診療報酬と同額の料金請求の様です。我々はリハビリの得意な医療機関ですから、医学的根拠が大原則のもと、障がいのある人の期待に応えるべしと思います。現場セラピストの思いが無いと実現できませんが、質の高いリハの実施で、まだまだ改善するケースも多々有ると聞きます。失語症のリハビリなど、そうでしょう。これは診療報酬上の行為ではなく、収益事業です。

また、栄養士・調理師が講師となり、受講生を募って「はあもにい倉敷」で、フレイル予防教室、薬膳教室、サプリメント教室を開く、そういうの

を収益事業として行うことも考えられます。ちなみに、しげい病院すぐそばの山陽カルチャークラブ倉敷教室で、川崎医大附属病院栄養部員の方が月1回計3回（「減塩」「フレイル」「免疫強化と腸内環境」の各テーマ）の教室を開く（有料）という内容の新聞広告を目にしたところです。

各自が自分の職種を活かして、何かできることを考えてみてほしい。実行場所は、創和会（しげい病院）施設となった「はあもにい倉敷」です。リハビリやフィットネスに、カルチャー講座に使える体育館やトレーニングジム、教室があります。何でもできる環境にあるので、ぜひ皆さん、「自

分で収益事業をやってみようか」と考え、トライしてください。

病院の収益事業とし、通常業務の中で企画するのはもちろん、副業として「はあもにい倉敷」と講師契約をして自分で受講生を集め、講座を開いて収入を得るのも有りです。

「はあもにい倉敷」は近年赤字ですが、本来病院の収入を補填すべき収益事業であると同時に、皆さんへの福利厚生の中にもあります。法人職員には半額に近い料金で運営している子供英会話であるとか、フィットネスやヨガなど、大いに活用していただければ、それが収益となります。

収益事業 アイディア募集

- ▶ 患者さんが退院後に必要な物品を販売
- ▶ 持ち帰り弁当をご家族にも
- ▶ 病院の車とか封筒に他社の広告を掲載する
- ▶ はあもにい倉敷で、自分のスキルを使って講座開講

あなたのアイディアを本部、各病院の総務課へ

スライド6

まだまだ言うけど、アイディア募集です（スライド6）。例えばスライドの3番目。いわゆるラッピング・カーです。ANAの機体のポケモン・ピカチュウは目立ちますね。ならば通所リハビリ送迎車両に、どこかのドラッグストアの広告をプリントしてはどうか。自院給料明細の封筒に保険会社の広告とか、化粧品広告とか。今は市役所の封筒や広報紙にも企業広告が載り、市が収益確保の手段としていますね。市の財源として、税収だけでは間に合わないから、少しでもという努力で

しょう。相い通じるところ有りです。病院がするのはいかがなものか、ということはありません。しつこいけれども皆さんのアイディアを募集します。メールで、院内ネットで、本部か各病院総務課、「はあもにい倉敷」へ連絡をください。

5月12日創和会創立67周年記念式典
理事長挨拶

（次号に続く）

この人紹介 !! ～私の履歴書～

4月から創和会と岡山大学の連携により設立された岡山大学学術研究院医歯薬学域 肝・腎リハビリテーション（運動療法）連携推進講座 教授として、しげい病院に週1回、重井医学研究所附属病院に2か月に1回勤務させていただくことになりました川中美和（かわなかみわ）と申します。 よろしく願いいたします。



出身は香川県で1989年に川崎医科大学に入学し、在学時はしげい病院からすぐ近く（300メートルくらい）に住んでおり、しげい病院は馴染みが深い病院です。在学中は硬式テニス部に所属し、最近はたまにですがゴルフやランニングを趣味としております。1994年に川崎医科大学を卒業後は川崎医科大学総合医療センター（旧川崎病院）で内科研修医、病理学の大学院を経て、2006年ボストンのノースイースタン大学に留学し、帰国後も同施設の消化器内科で肝臓疾患の診療を行ってきました。特に脂肪肝、代謝機能障害関連脂肪性肝疾患（MASLD；Metabolic associated fatty liver disease）に関しては、2000年の頃から病理診断、非侵襲的なMRエラストグラフィなどによる診断、治療、経過、予後に関する研究だけでなく、実際に診療、治療、さらには新薬の臨床治験を多数行っています。



この度は、重井理事長、創和会理事会のお力添えをいただき、共同研究講座を発足させることができました。近年、脂肪肝は急増しており、非飲酒者（MASLD：以前のNASH/NAFLD）だけでなく、中等度飲酒者や高度飲酒者にも肥満の方が増加しており、特に糖尿病などの生活習慣病を合併した患者さんにおいては、肝硬変や肝臓がんのリスクが高く、気がつかないうちに肝硬変や肝臓がんを発症していることがしばしばあります。この脂肪肝は脳卒中や心筋梗塞、心不全だけでなく、慢性腎臓病やサルコペニアとの関連も深く、また、これらはリハビリテーション、つまり運動療法を行うことにより予後の改善や予防に繋がるのがわかっております。しげい病院、重井医学研究所附属病院におきましては肝硬度を測定するShare wave エラストグラフィや体組成を測定する機器（In Body）、栄養指導、リハビリ施設、運動施設（はあもにい倉敷）などがあり、このような患者さんをチーム医療で診療していく上で最適な施設と考えております。

このような医療環境からも本講座の目標は肝臓、腎臓の両方の視点からメタボ管理を行い、危険な脂肪肝や慢性腎臓病の患者さんを早期に見つけ、肝硬変や腎不全にならないよう、また、肝硬変や腎不全の患者さんにおいても、運動療法の重要性を啓発し、サルコペニアや予後の改善につとめていくことを目的としております。今後、チーム医療を推進し、新しい取り組みを皆様方と楽しく行っていきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願いいたします。

この人紹介 !!

4月から本部安全課長として勤務されている
三木啓資（みきひろし）さんをご紹介します。



警察時代の印象に残っていることは？

警察では主に少年事件や覚せい剤事件を担当しました。緊迫した事件検挙も多々経験しましたが、今回は印象的だった20数年前、警察学校の教官時代をご紹介します。

入校までごく普通の若者が数か月に及ぶ集団生活と厳しい訓練・勉学に耐え抜くと、両親も見違えるほどの成長を遂げます。そして、卒業式では感極まり、涙して第一線へ巣立っていく、その姿が忘れられません。人を育てる仕事の素晴らしさを味わい、大きな感動に包まれたのです。4年間で約800人を送り出しましたが、今では各署・部門の中心となって活躍してくれており、非常に感慨深く思っています。

趣味は何ですか？

西大寺で生まれ、幼少期は吉井川河口でハゼ釣りに興じ、警察に入ってから時々息抜きも兼ねて、釣り仲間と近回りでメバル釣りなどを楽しんでいました。

最近では遊漁船での釣行もしますが、ある日、その船上で「グー」と強烈な引き込みがあり、逃がさないよう慎重なやりとりの末やっと上がってきたのが、過去一番の大物、全長65センチのマダイでした。

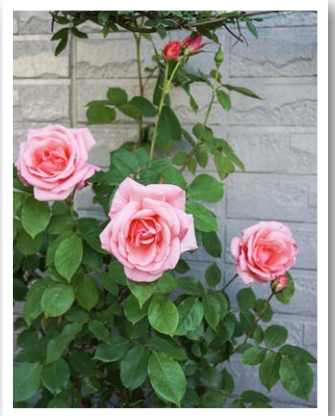
こういう経験を思い出しているとまた、海が恋しくなってきました。



家族での楽しみは？

妻はバラが好きで小さな庭に何種類も育てており、私はレンガ担当として一緒にガーデニングを楽しんでいます。

毎年GW頃には、赤・黄・白など様々な花が咲き、加えて香りでも楽しませてくれます。中でも私の推しは、敬宮愛子内親王のご誕生を祝して名付けられたピンクが鮮やかな「プリンセス アイコ」(四季咲き、直立性)で今年も見事な花を咲かせてくれました。



▲プリンセス アイコ

自身の仕事の進め方や今後の抱負をお聞かせください

これまでの経歴から身につけた仕事の進め方は、まず計画を立て、それに沿って進め、もし先に困難があれば、達成後の褒美として楽しい行事(家族旅行、釣りなど)を予定することで自分を一層奮い立たせます。

しかし、それでも解決する方法が見つからない時には、早朝、朝日を浴びながら公園などを散歩します。すると机にかじりついていたときには考えもしなかったアイデアが急に降ってくることがあり、何度か助けられました。もし、行き詰まったら試してみてください。

皆さんのお仕事は、患者さんの命や健康に直接関わる非常に重要で常に緊張にさらされるものだと思います。これまでの私の経験を活かしながら、少しでも貢献できたらと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

永年勤続者表彰

しげい病院

30 年表彰

植田 早苗

20 年表彰

有松 利恵

東山 由記

吉本 裕美

中村 百代

渡邊 泰子

松倉 翔

川上 弥生

横道 瑛子

立川 真也

10 年表彰

山本 麻里奈

大山 倫子

花房 香織

土 真梨子

野田 璃緒

石原 彩華

山本 達也

森下 遼

羽原 恵

井上 宏美

岩佐 紘樹

瀬戸山 佳代子

桑名 仁

寺田 芹奈

森分 涼子

石原 敦子

見持 好美

染谷 早紀

長谷川 聡子

岡崎 玲子

池上 千絵

薬師寺 智子

謝辞

病院の日・しげい病院創立記念日であるこの良き日に、永年勤続受賞者 32 名に対して盛大な表彰式を挙げていただき感謝のきもちでいっぱいです。受賞者を代表し、心より御礼申し上げます。私たちが 10 年・20 年・30 年の長きにわたり働き続けてこられたのも、理事長・院長のご理解及び諸先輩方、同僚の皆さま方の温かい支えと、ご指導ご鞭撻のおかげと深く感謝しております。

振り返りますと、30 年前、希望を胸にこの病院の一員として歩みを始めました。人としても社会人としても未熟で、先輩方に助けられながら、日々学びの連続でした。時には困難な状況に直面し、悩みや迷いもありましたが、同僚や上司の皆さま、そして患者さまとの関わりの中で、少しずつ成長させていただきました。

決して平坦な道のりではありませんでしたが、しげい病院で働かせていただいたことは、私たちの誇りであり、かけがえのない財産です。医療の現場は日々進化し、私たちに求められる役割も変化し続けています。そのなかで、現在、私は理事長秘書として、理事長の思いを確実に受け止め病院の円滑な運営に役立てるように、日々努力を重ねております。

今後も、創和会の理念である「生きることの尊さと健康であることの幸せをすべての人と共に」を心に刻んで精進していきたいと思っております。最後になりますが、皆さまのご指導とご支援に改めて感謝申し上げますとともに、社会医療法人創和会のさらなる発展と、皆さまのご健勝を心よりお祈り申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

令和 7 年 5 月 12 日

永年勤続者代表 植田 早苗



57名の皆さま おめでとうございます

重井医学研究所附属病院

30 年表彰

大西 稔子
定広 久美子
岡田 忍
山本 美和子

20 年表彰

草野 智子
三近 祐美子
山中 洋子
的場 美香
岩城 恵美
阿部 洋子
櫻間 教文

10 年表彰

浅原 陽子
杭本 直樹
松井 彩奈
溝渕 優也
野口 直人
奥村 由香
中澤 好美
槌田 奈都子
浜本 真吏
川本 麻美
則武 光信
奥村 裕介
西条 久美子
森井 鮎美

謝辞

本日、創和会創立記念日であるこの佳き日に永年勤続表彰者 25 名の表彰式を挙行していただき、心よりお礼を申し上げます。代表して一言ご挨拶を申し上げます。

就職してからの 30 年を振り返りますと、医療を取り巻く環境は、少子高齢化の進展、医療技術の進歩、及び医療提供の場の多様化など変化してきました。これまでコツコツと、自

分にできる精一杯与えられた仕事を頑張ってきたことが、こうやって永年勤続表彰という形となったことで一つの良い意味での節目になったと感慨深い思いです。長きにわたり勤続できましたことは、理事長、院長をはじめ諸先輩型、同僚のご指導・ご協力そして励ましがあったからからこそと深く感謝いたしております。

私は、透析に長くかかわってきました。入職当初は、透析室は現在の半分ほどの広さでした。透析に関する知識は十分でなかったため、先輩看護師だけでなく、患者さんから教わったことも多数ありました。腎友会主催のバス旅行で、患者さんとチボリ公園に行ったことは忘れられない思い出の一つです。今後も一期一会の出会いを大切に誠心誠意努めてまいります。

最後になりましたが、創和会の益々のご発展を祈念してお礼の言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



▲謝辞

令和 7 年 5 月 12 日

永年勤続者代表 定広 久美子



お試し透析始めました

しげい腎クリニック早島 臨床工学士 田路 雄基

2025年4月から、しげい腎クリニック早島では創和会のしげい病院、重井医学研究所附属病院で透析治療中の患者さん向けに「お試し透析」の受け入れを始めました。

透析治療は通常、患者さんが決まった病院で継続して受けることが多く、他の施設の環境を体験できる機会はほとんどありません。そこで「ぜひ、しげい腎クリニック早島の環境を体感してほしい」との思いから、お試し透析を企画しました。2025年5月現在8人の患者さんがお試し透析を体験されています。

しげい腎クリニック早島では、各ベッドごとに仕切りを設け、半個室のプライベート空間を確保。さらに、身体にやさしい空調システムを採用しており、風を感じない快適な室内環境を実現。上下の温度差が少ない、やわらかな熱放射で室内全体

を穏やかに保っています。これは空気感染リスクの低減効果も期待できる空調設備です。院内には無料Wi-Fiも完備しており、透析中にスマートフォンのデータ容量を気にすることなくインターネットや動画視聴などをお楽しみいただけます。しげい病院や重井医学研究所附属病院のオープンフロアとは異なる、しげい腎クリニック早島ならではの環境が整っています。

今後も、患者さんや創和会職員の皆さんにしげい腎クリニック早島の魅力を知っていただくよう、様々な企画を実施してまいります。この取り組みを岡山県下の各病院にも知っていただくために、クリニック広報担当スタッフがInstagramやホームページでも情報を発信していますので、ぜひご覧ください。

しげい腎クリニック早島

クリニックで
お試し透析
してみませんか?!

正面玄関から
透析室まで
10m

最新空調設備で
快適な
室温

半個室で
プライバシー
確保

お問い合わせ しげい腎クリニック早島
〒701-0303 岡山県都窪郡早島町前湯277 Tel086-436-6888

体験された患者さんから、
大変うれしい
お言葉をいただきました。

しげい腎クリニック
早島ができた時に
体験透析ができた
らいいなと思って
いた。

自 転 車 で
15 分 くら
いでこれるの
がいい。

きれいで 静
か、外の光が
入り明るい
がいい。



▲ Instagram



はあもにいデイ・フィットネスQ & A

社会福祉士・健康運動指導士の
八尾美奈子チーフに質問!!



Q：『はあもにいデイ・フィットネス』の特徴は何ですか？

A：「安心・安全」「続けやすい」「楽しい」の3つが柱です。しげい病院と連携し、看護師・健康運動指導士・リハビリテーション職が在籍しています。必要に応じて自宅訪問によるメニューの調整も行います。また、19種類 27 台のマシン運動や Inbody・体力測定評価による個別アプローチで、健康寿命の延伸を目指します。さらにパステルアートや音楽療法、手芸などの趣味活動も充実しており、楽しみながら運動を継続できます。

Q：ご利用者さまは、どんな 1 日を過ごされていますか？

A：午前・午後の短時間プログラムで、健康チェック、集団体操、マシン運動、曜日別のレクリエーション(手作業、ゲーム、パステルアート、音楽療法など)を実施。入浴・食事サービスはなく、生活スタイルを維持しながら参加可能です。

Q：運動プログラムの内容を教えてください。

A：専門職が個別に運動メニューを作成します。筋力トレーニング、ストレッチ、バランス訓練、自宅でする運動を含む集団体操、運動機器による効率的なトレーニングで「無理なく続けられる支援」を実現しています。

Q：どんな方が利用されていますか？

A：「体力をつけたい」「転倒予防をしたい」「外出を増やしたい」と考える要支援・軽度要介護の方、初めてデイサービスを利用する方や、交流・趣味活動を求める方が中心です。

Q：職員が日頃意識していることは？

A：「やらされる運動」ではなく、「自らやる気になる支援」を意識。声かけや関わりでご本人の自己効力感を高める工夫を行っています。

Q：はあもにいデイ・フィットネスが大切にしている支援の価値観は？

A：「その人らしく、ずっと動ける生活」のサポートや、活動・交流を通じて自信を取り戻すきっかけとなる場所であること。ご利用者さまの可能性を引き出す支援を職員全体で共有しています。

Q：働いていてやりがいを感じるのはどんな時？

A：「歩ける距離が伸びた」「杖なしで外出できた」など成果を感じた時、ご本人の笑顔や前向きな言葉を聞いた時、デイサービスが居場所として機能していると感じた時にやりがいを感じます。

Q：医療・介護連携の取り組みについて教えてください。

A：しげい病院との連携も強化され、リハ職や病院看護師との協力体制により、個別支援の精度の向上・非常時の対応強化に繋がっています。



催し物案内

重井薬用植物園

植物園を楽しむ会

「入梅（つり）の頃の
花々を楽しむ」

日時：6月8日（日）
10：00～12：00
会場：重井薬用植物園



編集後記

●今年のゴールデンウィーク、広島の世界高原でチューリップ祭りに行ってきました。満開の花畑に癒されつつ、「あれ、最近やたら花がキレイに見えるのは歳のせい……？」なんて思ったり。自然との触れ合い、心にしみます。そんな私の最近の趣味はトレイルランニング。山を走る、ちょっとマニアックなスポーツです。息切れしながら登った先で飲むコーヒーは、コンビニの100円コーヒーでも極上の味に変わる不思議！自然って、すごいですね。（TS）

●玄関を出ると目の前には隣の家の庭に紫陽花がたくさん咲く季節になりました。少し憂うつな雨の日も、ふっと心が軽くなる気がします。さて、ゴールデンウィークには、足をのばして福井の恐竜博物館や鈴鹿サーキット、椿大神社をめぐる旅に出かけ、非日常に触れてリフレッシュできました。8月にはサムハラ神社に遊びに行こうと誘われていて、今からとても楽しみにしています。忙しい日々の中でも、ちょっとした癒しや楽しみがあると頑張れるなあと感じました。（IY）

EAP相談室コラム

「真面目さの有効活用 ～家庭菜園のススメ～」

ジャパンEAPシステムズEAP相談室

人から「真面目だね、もっと気楽に過ごそうよ」と指摘された経験はありますか。真面目な性格には良いところもたくさんありますが、自分の振舞いや仕事の出来などに注意が向くと「これは良い、だめ」と細々ジャッジして疲れることも多いかもしれませんね。指摘された通りに、もう少し気楽に！と真面目な性格を変えようと頑張る、それはそれで疲れてしまうでしょう。

そこで、真面目さを有効活用してみるのはいかがでしょうか。自身に向かっている注意を外に向け、なおかつ自身の豊かさに繋げられる方法があれば、真面目さは貴方の強い味方にもなりえます。その方法の一つとして、今回は家庭菜園を例に挙げたいと思います。

真面目が高じて神経質になりやすい人を対象にする森田療法では、窮屈さを和らげる取り組みの一環として、植物を育てます。植物を育てるためには、①毎日水やりを几帳面に続け、②対象をつぶさに観察し、③イレギュラーにも慎重に対処していくことが求められますので、集中しないと失敗してしまうことも多く、自然と外に向かっていきます。また、神経質な人の仕事はとてども丁寧で、植物は生き生きと成長を遂げます。その経験を通じ、自身の真面目な性格を肯定しやすくなると思われます。

真面目は損するなどと言われますが、植物の豊かさは真面目な人が享受できる特権とも言えます。興味のある方は、たとえば今から始めるのであれば、キュウリ・トマト・ナスなどの夏野菜はいかがでしょうか。6月～7月の時点で、気温は既に夏日を記録する日も多いです。8月にはもっと暑くなります。身体は溜まった熱を逃がそうと汗をかき、エネルギーは消耗され、倦怠感と食欲不振を呼び込みます。夏野菜は、水分不足を防ぎつつ、カリウムの利尿作用で身体を冷やしてくれる優れモノです。

貴方が毎日水をあげ、病気になるまいよう観察し、時に台風をしのぐため軒下に保護した夏野菜は、きっと貴方の心と身体を守ってくれる“頼れる奴”として、実を結んでくれることでしょう。



※社会医療法人創和会は職員の心の相談窓口として、ジャパンEAPシステムズと契約しています。相談はお気軽に、電話やメールで。



社会医療法人 創和会グループ

WEB版はこちら。
バックナンバーもご覧ください。➡



- しげい病院
- 重井医学研究所附属病院
- しげい腎クリニック早島
- 医療法人 三祥会 幸町記念病院

- 倉敷しげい訪問看護ステーション
- 倉敷しげい居宅介護支援事業所
- 岡山しげい訪問看護ステーション
- 岡山しげい居宅介護支援事業所

- 重井医学研究所
- 健康増進施設 はあもにい倉敷
- 重井薬用植物園
- 倉敷昆虫館